



中芥核密第三七號

大正七年六月五日於佐世保

小泉 査問 委員 長

磯川 芳山 特務 艦長 殿

査問上必要事項ノ件

査問上必要事項ノ件 左記ニ急送并ニ回答相成後

記

一 航海日誌 抜萃 (六月四日及五日ノ分)

二 使用用海者 (横須賀出港ヨリ戻兵場迄ノ分)

三 横須賀出港後自差則定 (若ハ修正)ノ時日

海

軍

0802

及場所並自差表

四、本船海中一使用ノ原速力半速力及微速力

並ニ之ニ對スル機関回轉數

五、六月五日午前零時五分ノ艦位ハ如何ニテ決定

セリカ詳細記述ノ下

六、貴官報告ニ據レテ六月五日午前十時至五

分ノ艦位ハ天測ヨリ測定ストヤリ其ノ艦位ハ

如何ニテ決定セリカ詳細記述ノ下

七、瓦矢崎燈台ノ霧中ノ号角ヲ聽キシカ否

ヤ

八、天候氣象ニ関シ傍受又ハ電信所等ハ





寫

常山松忍中五五御

大正二年六月二十日於及矣崎

磯前松方山特務艦長

小泉永太閣委員長殿

本問は御事頂下作

肥前機密第七號見本件左記ノ通り

一 取泊日 訪拔率 (一) 四日及五日ノ分 (別冊部

添介

一 使用海首 (横須賀出港ヨリ及矣崎迄ノ分)

但海軍海首九、六、七、一、四枚添介

海軍

0806

三横須賀出港後自差測定(若く修正)の機會  
 ナカリシラズテ確實施セス  
 自差表ニ関シテハ左記ノ通り  
 大正十一年四月十日午後四時後佐保港外に於テ自差  
 修正ヲ行ヒタルモ時間ノ都合ヨリ自差測定ヲ  
 行フ能ハザリキ但シソラシムトニヨリ船西  
 ニ於ケル自差測定ナルトテ確メ得タリ其ノ後特  
 自差測定ノ機會ヲ得ザリシモ航行中ニ地  
 物ノソラシムト或ハ三方位法或ハ天体方位法  
 等ニヨリ自差ヲ檢セシモ常ニ三分内外ナリシ  
 フ以テ特ニ自差表ニ記シテ施サザリキ

四、本航途中使用ノ原速力十節(回航六三)

半速力七節(一、四)

微速力四節(一、六)

六、五日午前零時五分、船位推定

四日午後十時五分頃ヨリ月明ヨリ艫崎

附近ノ陸岸ヲ認メタルヲ以テ同十時四十分至

神山(三五五)及艫崎(一四四)ニヨリ船位艫

崎燈基ノ南半六度東三三厘ニ在ルヲ確メ

タリ又金華山至艫崎間ノ實速力八節午

後四時同四時三十分同十時四十分ニ於テ實

則船位ヨリ算出セル一。第一三及九節七

海軍

0808

平均一〇節ト下リ確ク得タルト且又同日  
 午後十一時五分ノ實測經位ニヨリ風潮ニ  
 ヲル流圧ヲ蒙ラザルヲ知リタルヲ以テ艦ノ豫  
 定航路上ヲ實測一〇節ニテ航行セルモト  
 シ五日前零時五分ノ表針實ニ於ケル艦  
 位ヲ推定セリ  
 表針後間モナリ鮫崎燈台ノ光甚ク霧勢  
 中ニ認め得タリ  
 六、五日前十時五分ノ正則艦位ノ推定  
 五日前零時五分鮫崎燈台ノ東南東  
 十二度半(頭末報告ニ十二度トセシハ誤)ニ於テ



北九度西ニ震針 南後五日午前慶時辛九  
 分實測船位ヨリ實速力一節ニテ風潮  
 ノ影響ノキモトノ自信ヲテ航行セリ然  
 ルニ五日午前十時辛五分ニ至ル迄船務者ノ天  
 体地物ヨリ船位ヲ測定スル能ハス事ニテ今午  
 前十時辛五分大陽一時現出シ南方ノ地平線  
 稍良好ナリトシ又午直ニ天測ヲ行ヒ名ニ實速  
 一節トシテ算出セル推定位置(及矣)持ル  
 ノ南半四度東十七度ヨリ天体ノ磁石位南  
 半度東修正差一厘五ノ位置ノ線ヲ得テ  
 今午十四時午後四時以來ノ状況ニ鑑ミ風潮

海軍

一、影射百ナカリモト推定ニ且天測ハアト止  
 拾モ豫定航路ヨリナリナク五日午前零時五分  
 ヲリ天測ハアトニ至ル算出速カ九節九ナリ  
 シラテ該天測ハアトヲ午前十時五分  
 分ノ推定艦位トナセリ  
 又、五日午後時頃迄ハ艦橋ニ在テ一國モ曉中取レシ  
 遭難後暫クシテ復天灯台霧中早角ヲ聽  
 ケリ  
 八、天候氣象ニ関シ傍受又ハ特ニ問合セタリ  
 シ  
 九、機園日誌抜萃(六月四日及五日分)別冊一部

0811







肥前秘密第三七號ノ三

大正十一年六月二十日 德保軍港於軍艦肥前

小泉 査問委員長

瓦矢崎燈台看守 啓

査問上必要事項 復取調ノ件

特務艦旁山坐礁事件 査問上必要件 佐記

ノ件 善急申 回答ヲ得度

右依頼ス

記

一 五月廿午前零時ヨリ同日午後二時迄ニ至ル迄

海軍

0814

部事項

天候(特、霧)就テハ詳細ニ

風向、風力

海上ノ模様

霧中号角使用ノ有無並ニ時期

當時ノ天候ヲ霧中号角到達ノ概距離

同五時正午止時ヨリ午後三時三十分間ノ視界(貴

灯台ヨリ物体ヲ認識シ得ル最大距離)

山特務艦方山(同日何時頃發見セラレカ)

四右聲見時ハ方山坐礁後ナリヤ又航行中

ナリトモハ其ノ認識シラントキノ模様

(い) 右發見時貴方呂テ執ラレタニ年般	(一〇)		海軍
---------------------	------	--	----

0816

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0817





陸尾藩三ノ御

光緒二十九年五月十九日

尻無垢怪長青字長

カスミキヨウカク長即

査問上ハ何カノ事ニ因リテ

六月二十日付肥後藩長カクニテ御之

御覽ノ事御子左記ノ如ク候也

也

六月廿五日午前奉付ノ事御子候ニ付之御子

見下

云候 申付ノ御覧ノ事御子候ニ付之御子

陸尾藩

0818

梅老(一五〇)雲巻一ハ

(現子)年高十時一ノ三年物寄。三九三時鳥

敬云

既向有之在年物寄三平下地一ノ事一也

乃方知也(増巻一)

御力了(増巻一)

世ノ櫻林 有ノ一葉云物原の地一ノ西云新落

平高申是年物寄一高申能(時刻)

女は跪きの味以懐きすしを在在気 有秋鳥吃鳥

時鳥一在ノ事也

至秋鳥吃鳥時鳥 白年高十時

0819

西條中平南河邊ノ柳巨剪

古頃為心晴風晴ありてサハ色女先為形宿為昔道  
巨剪ノ熟チテ天徳流休強之温多及温多  
羽の羽力等ノ調和之体ノ切ノ音昔ノ昔ノ歌  
才高化見ク空音高知ノ木ノ何程ノ巨  
高ノ音達しんヤリ空風ノ強中元 月古ノ歌  
一音通の音理ノ音達スルノ切ノ性ノ  
九ノ熟チテノ音生チリ海ニカ昔ノ歌ノ音  
九半三五ノ音老照ノ音也

高島 佐助所

0820





--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0823  
 0823  
 0823

0823

大正 年 月 日 曜日 ( 碇泊) 高潮時 午前、午後																						
當直將校氏名	時刻	航路		測程儀	風		艦傾斜		天候	雲				氣壓		氣溫		海水		波浪		備録
		實測	測定儀		方向	力	左	右		形	雲量	方向		晴雨計	附著寒暖計	乾球寒暖計	濕球寒暖計	溫度	比重	種類	方向	
										上層	下層											
	1																					
	2																					
	3																					
	4																					
	5																					
	6																					
	7																					
	8																					
	9																					
	10																					
	11																					
	正午																					
艦推測		位實測		航走距離 (浬)		流		湖		燃料		淡水		雜件								
午前六時					自		測定地域		自		費		罐		休業患者 最高溫度 彈藥庫 石炭庫 最高溫度 艦水底							
					至		方向		至		量		水									
					於		既航距離		方向		現		飲料水									
					正午		未航距離		時間		量		雜用水									
	1																					
	2																					
	3																					
	4																					
	5																					
	6																					
	7																					
	8																					
	9																					
	10																					
	11																					
	正午																					

六月五日

記		事	
時分	午前	時分	午後
0-5	鵜崎正(ESE12.5)=5N9W=変針	0-12	鵜崎燈臺(S85E10.8)=5N64W=変針
0-53	W=月後ス	0-47	測深儀使用(走線50水深32)
4-3	航路燈ヲ撤入		前進半速
5-45	総員起床	0-50	前進半速 続テ後進原速
5-50	別課(体操五分間)	0-52	停止坐礁 後進原速
7-15	日課手入履行	0-55	離礁
8-20	全上終了	0-57	一船艙浸水(防水)
8-45	始業水兵貞整列(測深教練)	0-59	停止
11-30	止業	1-0	浸水益々激烈
			前進半速 續テ停止
		1-1	前進原速直=停止 続テ後進原速
			左舷錨ヲ入ル坐礁
		1-3	ケツジャンカーヲ用意
		1-5	停止 (風向SE風力1長濤激烈)
		1-10	汽鐘消火
		1-24	船体長濤ノ為メ漸次船尾ヲ右=廻サレ波ヲ左舷 止横列度ノ
		1-33	ケツジャンカーヲ入ル
		1-34	船舷炭庫浸水 缶室=入ル
		1-35	第一カッターヲ卸ス
		1-50	陸上=纜索ヲ取ル
		4-0	桑楮到着
		5-0	重要書類ヲ陸揚ケス
		7-0	第一カッターヲ揚ゲ
			坐礁位置 鵜崎燈台南四十度東 六〇〇米ノ暗礁

財部 大將 鹿ヶ谷高原町 奥村寅次郎別邸  
1  
七前  
〇〇  
一後  
〇〇  
四後  
〇〇  
〇〇前  
〇〇  
五後  
〇〇  
同上  
4  
久保田英胤 第一朝集所



大正十一年六月五日 曜日 (自横須賀至函館) 高潮時 午前 午後

船名	時刻	航路(船首方位)	航程		測程儀	風		傾斜	天	雲			氣壓		氣温		海水		波浪		緯度
			實測	測定		方向	力			形	雲量	方向	晴雨計	附著雲	乾球	濕球	温度	比重	種類	方向	
										上層	下層										
河西虎三 大久保一 櫻等 力利明	1	N9W	100	8.9	290.1	SSE	F-2	10/10	B				760.5	16	16	14	14	1.025	L	E	3745
	2	"	"	8.7	298.8	"	"	"	"				"	"	"	"	11	1.026	"	"	3753
	3	"	"	8.5	307.3	"	"	"	BF				760.2	"	"	"	"	"	"	"	3712
	4	"	"	8.8	416.1	"	2-3	"	"				760.0	15	15	"	"	"	"	"	3812
	5	"	"	8.6	424.7	"	"	"	"				"	16	16	"	12	1.025	"	"	3753
	6	"	"	8.7	433.4	SE	3	10/8	CF	SK	10		760.5	15	15	"	"	"	"	"	3795
	7	"	"	8.5	442.9	"	2-3	"	OCF	"			"	"	"	"	"	"	"	"	3820
	8	"	"	8.0	450.9	"	2	10/10	"	"			761.0	16	16	"	"	1.026	"	SE	3611
	9	"	"	8.2	459.1	"	1	"	"	"			761.5	16.5	16.5	14.5	"	"	"	"	3785
	10	"	"	8.7	467.8	"	"	"	OCF	"			"	17.5	17.5	15	"	"	"	"	3795
	11	"	"	8.8	476.6	"	"	"	"	"			"	"	"	"	12.5	"	"	"	3834
正午	"	"	8.8	785.4	"	0-1	"	"	"			"	"	"	"	"	"	"	"	"	3727

時間	航走距離 (哩)		燃料	水	雜件
	自	至			
午前六時	40-26.7 N	142-1 E	行 39.0	總 費量 12.0	休業患者 (正午)
正午	41-24 N	141-42 E	量 0	水 現量 72.0	最高温度 (後八時)
午後六時			現 行 990.0	飲料水 費量 3.0	庫石炭 (後八時)
			量 182.5	雜用水 費量 12.0	底量 (後八時)
				現量 1649.0	

櫻等 力利明	1	SW	8.0		SE	1	OCF	N	10		761.2	16	16	14		L	SE	
	2	S			"	"	"	"	"		360.5	"	"	"		"	"	
	3	SSE			"	"	OCF	"	"		760.3	"	"	"		"	"	
	4	"			"	"	"	"	"		761.5	"	"	"		"	"	
	5	"			"	"	"	"	"		762.0	"	"	"		"	"	
	6	"			"	"	"	"	"		"	14	14	13.5		"	"	
	7	"			"	"	"	"	"		"	"	"	"		"	"	
	8	"			"	"	"	"	"		"	13	13	12		"	"	
	9	"			"	"	"	"	"		"	"	"	"		"	"	
	10	"			"	"	OC	"	"		"	"	"	"		"	"	
	11	"			"	"	OCF	"	"		"	"	"	"		"	"	
正午	"			"	"	OC	"	"		"	"	"	"		"	"		

0826



三 大正十一年六月四日 日曜日 (自横須賀 碓泊) 高潮時 午前 午後

當直將校氏名	時刻	航路(艦首方位)	航程		測程		風		艦傾		天	雲			氣壓		氣温		海水		波浪		鐘	
			實測	測定儀	程	儀	方	力	左	右		形	雲	方	上層	下層	晴雨計	附著露點計	乾球溫度計	濕球溫度計	温	比		種
大久保一櫻	1	N16E	10.0	8.4	90.4		N	1	10	10	C	SK	10			763.7	21	21	19	20	1.026	△	NE	3717
	2	"	"	"	98.8		"	"	"	"	"	"	"			763.2	"	"	"	"	"	"	"	3709
	3	"	"	"	107.2		"	"	8	10	BC	"	6			763.0	"	"	"	19	"	"	"	3647
	4	"	"	"	8.7	115.9	NW	"	"	"	"	"	5			"	"	"	"	"	"	"	"	3781
河内虎三	5	"	"	7.5	123.4	SW	0-1	17	17	"	CK	2			"	22	22	20	21	"	"	"	"	3780
	6	"	"	8.8	132.2	"	"	7	8	"	"	"	"			763.5	"	"	"	"	"	"	"	3607
	7	"	"	7.0	139.2	"	"	8	8	B	C	1			764.0	"	"	"	"	"	"	"	"	3620
	8	"	"	7.8	147.0	NW	"	16	16	BC	SK	8			763.0	21	21	19	"	"	"	"	"	3617
等力利明	9	"	"	8.4	155.4	N	1	22	22	"	KC	4			762.6	19	19	18	15	"	"	"	"	3789
	10	"	"	8.2	163.6	NE	"	"	"	B	/	/			763.0	"	"	"	"	"	"	"	SE	3707
	11	"	"	8.5	172.1	E	"	"	"	"	/	/			"	"	"	"	14	"	"	"	E	3745
正午	"	"	8.7	180.8	"	"	10	10	BZ	C	1			762.0	20	20	19	"	"	"	"	"	3751	

時間	航路		航走距離(哩)		自測地城	自至	燃料	淡水	雜件
	推測	實測	既航距離	未航距離					
午前六時	36-36.8N	141-15.3E					行 36.0	總量 12.0	休業患者 (正午) 1
正午	37-34N	141-15.3E					量 5.0	現量 84.0	最高溫度 (後八時) 8 程
午後六時	38-34.2N	141-49E					現行 1029.0	飲料水 現量 3.0	最高溫度 (後八時) 18
							量 182.5	雜用水 現量 50.0	最高溫度 (後八時) 2 番
								現量 12.0	最高溫度 (後八時) 78
								現量 1661.0	最高溫度 (後八時) 0

河内虎三 大久保一櫻 等力利明	1	N16E	10.3	8.7	189.5	ESE	1	10	10	B	/	/			762.0	21	21	18	15	1.025	△	ESE	3715	
	2	"	"	8.4	197.9	SE	"	"	"	BC	C	2			761.5	22	22	18.5	"	"	"	"	3723	
	3	N48E	"	8.6	206.5	"	"	8	7	"	"	"			761.0	"	"	18	"	"	"	SE	3680	
	4	N24E	"	8.1	214.6	NNE	"	"	"	B	"	1			"	21	21.5	17	14	"	"	"	E	3564
	5	"	"	8.4	223.0	NE	"	8	8	"	"	"			760.5	20.5	20.5	"	"	1.026	"	"	3653	
	6	"	"	8.2	231.2	"	"	8	10	BC	CK	5			760.9	19	19	"	"	"	"	"	3698	
	7	"	"	8.3	239.5	"	"	7	6	"	"	3			"	18	18	16	"	"	"	"	3700	
	8	"	10.0	8.3	247.8	"	"	"	"	"	C	2			"	17.5	17.5	"	"	"	"	"	3738	
	9	"	"	8.4	256.2	NNE	"	"	"	"	"	8			761.5	17	17	"	"	"	"	"	NE	3793
	10	"	"	8.3	264.5	"	"	"	"	B	"	1			762.0	18	18	"	"	"	"	"	3690	
	11	"	"	8.2	272.7	"	"	"	"	BC	SK	7			"	17	17	15	"	1.025	"	"	"	3600
正午	"	9	8.5	281.2	"	"	8	7	"	"	4			761.0	"	"	"	"	"	"	"	"	3743	



六月五日

記		事	
時分	前	時分	後
0-5	艮埠 L (ESE 12'5) = 7N9W = 変針	0-12	辰吉埠 艮 (ESE 10'5) = 7N64W = 変針
0-55	W = 月波 2	0-15	別課 (休操 土台間)
4-3	航海燈 撤 2	0-3	
5-45	機員起床	0-50	
5-50	別課 (休操 土台間)	0-52	
7-15	日課 午入 順行	0-55	
8-20	合上 終了	0-57	
8-45	始業 水兵 警列 (別課 教練)	1-0	
11-30	止業	1-1	
		1-2	
		1-3	
		1-4	
		1-5	
		1-10	
		1-20	
		1-30	
		1-35	
		1-40	
		4-	
		5-	
		7-	

油 煙 坐 埒 夫 瓦

ケル 量 於 現 正午ニ	補給水	重油	石炭	機 關 科 當 直 將 校 氏 名	
				補給水	石炭
七二〇		一八二・五	九九・〇	田 原 邦 三	宗 村 直 行
				大 塚 傳	上 村 房 美
				統一七五八七三	
				補助停止弁閉鎖	
				浸水爲ノ自然消火	
				一三八第三號止	
				鑽	
				補助停止弁閉	
				一三〇第二二號止	
				一三〇第一二號止	
				〇一九機油至直	

海水ノ性状中性

每 四 時 間

時 刻	原 速 (節)	罐 使用 數 全 數	行 動 用 燃 料 (噸)		行 動 用 油 (立)	縮 水 補 給 量 (噸)	縮 水 或 用 石 灰 (噸)	使 用 電 機 機 件 之 數	燃 料 航 行 對 應 之 量	溫 度 (華 氏)						給 水 庫 (最高)	重 油 (最高)	加 熱 油 (最高)	給 水 (最高)	分 給 水	風 ノ 方 向	潮 流 ノ 方 向	海 上 ノ 機 體		
			運 轉 用	及 埋 火 用						內 部	外 部	縮 水 室 (平均)	機 械 室 (平均)	甲 板	海 水									主 機 室 水	排 出 水
十時	10	2	6.5		0.3	7	2.0	0	40	6.2	102	88	59	72	84	130	77 <sup>(2)</sup>	使用	30 <sup>(1)</sup>	2.6				和	
十一時	7	1	6.5		0.3	7	2.0	0	25	6.2	115	86	59	56	80	130	80 <sup>(2)</sup>	使用	30 <sup>(1)</sup>	2.6				和	
十二時	7	1	6.5		0.3	7	2.0	0	30	6.2	102	87	64	57	80	130	80 <sup>(2)</sup>	使用	30 <sup>(1)</sup>	2.6				和	
十三時			2.0		0.2	4	0.5	1.0		3.0								セ							





時 刻  (平均吃水)	每一時間												特別記事	拔 鐘 午 時 分	投 鐘 午 時 分	原 速 力  十 四	配 置  節 直																	
	機 室		總 回 轉 數						總 軸 平 均 回 轉 數  每 分	原 速 ニ 對 ス ル 指 示 回 轉 數	航 程 哩																							
	蒸 氣 壓 力 所	通 風 壓 力 時	外 軸	內 軸	中 央 軸	內 軸	外 軸	左 舷				右 舷																						
午前	150	145			3.717			62.0	62	10								二五五全	二五五全															
二	150	145			3.709			61.8	"	"									二四〇全	二四〇全														
三	145	自	140		3.647			60.8	"	"									二二四全	二二四全														
四	155	150			3.781			63.0	"	"									二二五全	二二五全														
五	140	135			3.780			63.0	"	"									二二五全	二二五全														
六	135	130			3.607			60.1	"	"									二二五全	二二五全														
七	130	125			3.620			60.3	"	"									二二五全	二二五全														
八	155	150			3.617			60.3	"	"									二二五全	二二五全														
九	150	然	145		3.798			63.3	"	"									二四八全	二四八全														
十	150	145			3.707			61.8	"	"									二四八全	二四八全														
十一	145	140			3.745			62.4	"	"									二四八全	二四八全														
十二	150	145			3.751			62.5	"	"									二四八全	二四八全														
午後	145	140			3.715			61.9	"	10.3									二四八全	二四八全														
一	135	130			3.723			62.1	"	"									二四八全	二四八全														
二	140	通	135		3.680			61.3	"	"									二四八全	二四八全														
三	145	140			3.564			59.4	"	"									二四八全	二四八全														
四	145	140			3.653			60.9	"	"									二四八全	二四八全														
五	150	145			3.698			61.6	"	"									二四八全	二四八全														
六	140	135			3.700			61.7	"	"									二四八全	二四八全														
七	140	135			3.738			62.3	"	10									二四八全	二四八全														
八	135	風	130		3.793			62.9	"	"									二四八全	二四八全														
九	130	125			3.690			61.5	"	"									二四八全	二四八全														
十	130	125			3.600			60.0	"	"									二四八全	二四八全														
十一	150	145			3.743			62.4	"	9									二四八全	二四八全														

馬力計測表

軸	又ハ筒	左 舷				中 央				右 舷				軸	又ハ筒	左 舷				中 央				右 舷															
		外軸 (高壓)(中壓)	內軸 (低壓)	外軸 (高壓)(中壓)	內軸 (低壓)	外軸 (高壓)(中壓)	內軸 (低壓)	外軸 (高壓)(中壓)	內軸 (低壓)	外軸 (高壓)(中壓)	內軸 (低壓)	外軸 (高壓)(中壓)	內軸 (低壓)			外軸 (高壓)(中壓)	內軸 (低壓)	外軸 (高壓)(中壓)	內軸 (低壓)	外軸 (高壓)(中壓)	內軸 (低壓)	外軸 (高壓)(中壓)	內軸 (低壓)	外軸 (高壓)(中壓)	內軸 (低壓)	外軸 (高壓)(中壓)													
第 一	時 刻														第 三	時 刻																							
	回 轉 數															回 轉 數																							
	振計測器指數 (平均有効壓力)															振計測器指數 (平均有効壓力)																							
	馬 力															馬 力																							
	馬力合計															馬力合計																							
第 二	時 刻														第 四	時 刻																							
	回 轉 數															回 轉 數																							
	振計測器指數 (平均有効壓力)															振計測器指數 (平均有効壓力)																							
	馬 力															馬 力																							
	馬力合計															馬力合計																							





時 刻  若 時	每 一 時 間						航 程 哩	特 別 記 事	
	機 關 室 蒸 氣 壓 力 時	室 通 風 壓 力 時	總 回 轉 數			總 軸 平 均 回 轉 數 每 分			原 速 ニ 對 ス ル 指 示 回 轉 數 每 分
			左 舷 外 軸	中 央 內 軸	右 舷 內 軸 外 軸				
一	155	150	3745			62.4	62	10	<p>特別記事</p> <p>午後五時五分至六時五分 艦浸水直三 二一五全送入 二一五全送入 二一五全送入 二一五全送入 二一五全送入 二一五全送入 二一五全送入 二一五全送入 二一五全送入 二一五全送入 二一五全送入 二一五全送入 二一五全送入 二一五全送入</p>
二	120	115	3753			62.6			
三	120	125	3712			61.9			
四	150	145	3812			63.6			
五	145	140	3753			62.6			
六	150	145	3795			63.3			
七	125	120	3820			63.7			
八	150	145	3611			60.2			
九	130	125	3985			63.1			
十	140	135	3795			63.2			
十一	130	125	3834			63.9			
十二	150	145	3727			62.1			
十三	145	140	3631			60.5		6	

馬 力 計 測 表

軸 又 一 節	左 舷				中 央				右 舷				
	外 軸 (高壓)(中壓)	內 軸 (低 壓)	外 軸 (高壓)(中壓)	內 軸 (低 壓)	外 軸 (高壓)(中壓)	內 軸 (低 壓)	外 軸 (高壓)(中壓)	內 軸 (低 壓)	外 軸 (高壓)(中壓)	內 軸 (低 壓)	外 軸 (高壓)(中壓)	內 軸 (低 壓)	
第 一 回	時刻												
	回 轉 數												
	馬 力												
	馬 力 合 計												
第 二 回	時刻												
	回 轉 數												
	馬 力												
	馬 力 合 計												

0834

泊

																	正午ニ於ケル 現 (取)			機 關 科 當 直 將 校 氏 名
																	石 炭	重 油	補 給 水	
																	八四〇			
																				大塚傳
																				上村房美
																				田原邦三
																				宗村直行
																				大塚傳
																				上村房美

罐水ノ在状

每 四 時 間

時 刻	原 速 (節)	罐 使 用 數 全 數 3	行 動 用 燃 料 (取)		行 動 用 油 (立)		罐 水 補 給 量 (取)	罐 或 用 石 灰 (取)	流 量 機 ノ 電	航 路 ノ 距 離	温 度 (華氏)							鹽 分 (グレーン)		風 ノ 力 及 方 向	潮 流 ノ 力 及 方 向	海 上 ノ 模 様	
			運 轉 用	及 埋 火 用	内 部	外 部					機 室	機 板	甲 板	海 水	主 排 出 水	給 水	炭 庫 (最高)	重 油 (最高)	加 熱 油				罐 水 (最高)
8時	10	2	6.5		0.3	7	2.0	0	50	6.2	114	95	70	64	85	130	78 <sup>(2)</sup>		25 <sup>(1)</sup>	2 <sup>(5)</sup>	→	不詳	和
8時	9	2	6.5		0.3	7	2.0	0	35	6.2	104	96	68	75	90	130	80 <sup>(2)</sup>	使	27 <sup>(1)</sup>	2 <sup>(5)</sup>	↓	、	、
8時	9	2	6.5		0.3	10	2.0	0	40	6.2	106	94	68	70	88	130	78 <sup>(2)</sup>	用	25 <sup>(1)</sup>	2 <sup>(5)</sup>	←	、	、
8時	9	2	6.5		0.3	10	2.0	1.0	30	6.3	113	91	71	80	86	130	80 <sup>(2)</sup>	セ	30 <sup>(1)</sup>	2 <sup>(5)</sup>	↓	、	、
8時	9	2	6.5		0.3	7	2.0	0	40	6.3	106	90	64	76	88	130	78 <sup>(2)</sup>	ス	30 <sup>(1)</sup>	2 <sup>(5)</sup>	↓	、	、
8時	9	2	6.5		0.3	7	2.0	0	50	6.0	110	91	63	71	80	130	78 <sup>(2)</sup>		30 <sup>(1)</sup>	2 <sup>(5)</sup>	←	、	、

0835

三島田原 (八三三三) 三島田原

# 機 關 運 轉 記 録

大正十一年六月四日

日 曜 日

時 刻	每 一 時 間																備 考 山 城 級 、 令 剛 級 ノ 運 送 ア リ テ ハ 推 進 輪 回 轉 數 ノ 開 ハ 内 輪 、 外 輪 ニ 分 テ 之 ヲ 記 ス ル モ ト ス	機 關 科 當 直 將 校 氏 名	當 直 准 士 官 以 上 氏 名				
	機 械 室								機 械 室														
	蒸 氣 壓 力				主 復 水 器 真 空				回 轉 數				壓 力							油 温 度			
	高 壓 (滑 車)	中 壓 (滑 車)	低 壓 (滑 車)	密 閉 排 氣	蒸 氣 切 断 點 使 用 數 (百 分 比)	推 進 軸	主 抽 氣 脚 筒	主 送 水 脚 筒	配 油	液 水	冷 却 器 入 口	冷 却 器 出 口	配 油	液 水	冷 却 器 入 口	冷 却 器 出 口							
午前一	145	125	40	5	66	28	62	62	62														
二	145	125	40	5	"	28	62	62	62														
三	140	120	36	5	"	28	62	62	62														
四	140	130	40	5	"	28	62	62	62														
五	135	120	36	4	"	28	62	62	62														
六	130	115	34	4	"	29	62	62	62														
七	125	105	30	2	"	29	62	62	62														
八	150	130	40	5	"	29	62	62	62														
九	145	125	38	4	"	29	62	62	62														
十	145	125	38	4	"	29	62	62	62														
十一	140	120	36	4	"	29	62	62	62														
十二	145	123	36	4	"	28.8	62	62	62														
午前一	140	125	37	4	"	28.5	62	62	62														
二	130	120	38	4	"	28.5	62	62	62														
三	135	120	36	3	"	28.5	62	62	62														
四	140	120	36	3	"	28.5	62	62	62														
五	140	125	38	4	"	29	62	62	62														
六	145	125	38	4	"	29	62	62	62														
七	135	120	36	4	"	29	62	62	62														
八	135	125	38	4	"	29	62	62	62														
九	130	115	36	3	"	28	62	62	62														
十	125	115	34	3	"	28.5	62	62	62														
十一	125	115	34	3	"	28	62	62	62														
十二	145	130	42	6	"	29	62	62	62														

大塚傳  
上村房美  
由宗邦三  
宗村直行  
大塚傳  
上村房美

時 刻	每 四 時 間												記 事						
	主 軸 機 械						遊 隙 (千分ノ一吋單位)												
	巡航(中壓)タービン			高壓タービン			低壓タービン			巡航(中壓)タービン				高壓タービン			低壓タービン		
	遊 顯 微 隙 計	指 板 前 部	指 板 後 部	遊 顯 微 隙 計	指 板 前 部	指 板 後 部	遊 顯 微 隙 計	指 板 前 部	指 板 後 部	遊 顯 微 隙 計	指 板 前 部	指 板 後 部		遊 顯 微 隙 計	指 板 前 部	指 板 後 部	遊 顯 微 隙 計	指 板 前 部	指 板 後 部
午前一																			
二																			
三																			
四																			
五																			
六																			
七																			
八																			
九																			
十																			
十一																			
十二																			

0836

# 機 關 運 轉 記 録

大正十一年六月五日

月 曜 日

時 刻	每 一 時 間																備 考 山城級、金剛級ノ軍艦ニアリテハ推進輪回轉數ノ欄ハ内輪、外輪ニ分之ヲ記入スルモノトス																		
	機 械 室 蒸 氣 壓 力								機 械 室 蒸 氣 壓 力									當 直 准 士 官 以 上 氏 名																	
	軸 機 械				軸 機 械				軸 機 械				軸 機 械																						
	蒸	氣	壓	力	回	轉	數	主	蒸	氣	壓	力	回	轉	數	主			配	油	配	油	配	油	配	油	冷	却	冷	却	油	温	度		
高	中	低	密	推	主	主	復	高	中	低	密	推	主	主	復	配	油	配	油	配	油	配	油	冷	却	冷	却	油	温	度					
一	110	105	40	4	66	28	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62																			田原邦三
二	115	100	32	3		28	62	62	62	62	62	62																					宗村直行		
三	125	105	34	3		28	62	62	62	62	62	62																					大塚傳		
四	145	120	36	4		28	62	62	62	62	62	62																					上村房美		
五	140	123	37	4		29	62	62	62	62	62	62																							
六	145	123	38	4		29	62	62	62	62	62	62																							
七	120	110	36	3		29	62	62	62	62	62	62																							
八	145	125	40	5		29	62	62	62	62	62	62																							
九	125	120	38	4		29	62	62	62	62	62	62																							
十	135	125	40	5		29	62	62	62	62	62	62																							
十一	125	100	34	4		29	62	62	62	62	62	62																							
十二	145	125	38	4		29	62	62	62	62	62	62																							
十三	140	30	3	-12		29	26	26	26																										

時 刻	每 四 時 間												事 記																				
	主 タ ル ビ ン 遊 隙 (千分ノ一吋單位)						主 タ ル ビ ン 遊 隙 (千分ノ一吋單位)																										
	軸 機 械			軸 機 械			軸 機 械			軸 機 械																							
	巡	航	指	巡	航	指	巡	航	指	巡	航	指																					
午前																																	
四																																	
八																																	
午																																	
四																																	
八																																	
午																																	
四																																	
八																																	
午																																	
四																																	
八																																	
午																																	
四																																	
八																																	
午																																	
四																																	
八																																	
午																																	
四																																	
八																																	
午																																	
四																																	
八																																	
午																																	

0837



二六

飛取書

特務隊方山隊長

海軍中佐

砥川三郎

九の特務隊方山出陣事件の友ノ真

陣取

一 遭難報告書の中ニ記述附近ノ

是ニ係リ見付他船ノ浮遊ノ事

一 見付の船中船長ノ其ノ事

船中ノ船長ノ降ノ事

船中ノ船長ノ降ノ事

海軍

0838

可レシヨクテ五ノ船橋ノ降リ身ノ面シテ  
 午過船橋ノ下ノ心六十ノ意面ノ立又  
 野ノ命レ更野後去ノ自ルニ船橋ニ  
 上ノ身爲シ船橋近ノ在野ニ立テケリ  
 一  
 生體系不船橋ニ在テ見野ニ自ルノ外  
 船橋長、孝カ少佐操船長原村一孝  
 長崎信年号一人島島島号一人(自レニ  
 未知ノ降)方レ概船橋又何爲大  
 野ニ生體後去ニ船橋ニ去リケリ  
 一  
 船橋ノ下ノ船橋ノ下ノ針路ニ如何カ  
 備意ノ用中レバ船橋長一化セケリケリ

0839



向ふ一破之知り

一 龍崎沖にわたる位置決定當時の月

但し之龍崎の山も頗る見え入り下り

尺六サリと云ふ又水面の深さなりし

三尺六の深さなりしと云ふは遠く

二サリと云ふ深さなりしは決定位置

の位置より下り龍崎の深さなり

一 自下り龍崎沖にわたる位置決定

龍崎沖にわたる位置決定の位置より

龍崎沖にわたる位置決定の位置より

龍崎沖にわたる位置決定の位置より

C840

〓 船場伸多北九交西の要針し色針操 船員力要針交多馬道ヒ色針ノ事一 ナリト思惟之	〓 船場尻色場馬ノ船路を初知の道 船方より思ヒ得ん之 船場道ノ所 昔逆流ノ因チナリしハ今船場道 馬を九標 漢流ノ影御ありらん ナレト思惟之 又漢流ノ所 船に寄也 うしらのやとむらん 船場ノ道 ん大の金糸山 伸多北二十の交馬 北二十の交馬 要針 ( 昔ノ船場の
--	--

0841



諸の記述に本は自らに確を命じて然も其の  
 射録に著しき(一)紙述しんか源流の爲  
 格を考ふるに於て中より有りしは其の  
 北の切の南考すししと思惟せり  
 又中より考すに天削の然る自ら  
 一葉村家と傳へ一曰云削の爲しは少くは  
 ちりか入る一像の爲しを包却絶海長  
 二此の爲しは其の才情修業の  
 大なりし者也心近一巨匠考す  
 尺半の爲しは其の才情修業の  
 大なりし者也心近一巨匠考す

0842

有る上 確信し 格より 而して 推測 確信  
 二 動する 望み 航海 七の 身系 あり申  
 二 百の 年 後 の 時 十 下 十 高 針 時 也 本 船 位  
 決定 した 天 側 位 置 あり 十 里 運 力 三 帆  
 此 之 以 上 年 間 の 時 十 下 十 高 針 時 予 定 地  
 測 定 した 上 確 信 して 決 定 申 上 風 力 強  
 減 著 し 船 形 御 考 へ 就 して 少 少 予 定 地 向  
 かり して 航 行 する 所 へ 運 び 申 上 申  
 二 百 十 年 前 の 全 船 之 化 了 運 送 船 形 余 語 在 上  
 予 定 地 あり 申 上 紙 中 紙 面 隔 二 三 枚 あり 見  
 界 あり 上 確 信 した 年 間 十 下 十 高 針 時 予 定 地

0843



方下 尤も 和物 来龍 元 二 しい 障 せん 橋 下  
方 是 云 池 子 形 位 破 れ 色 了 以 多 之  
了 視 之 的 希 乞 然 歎 也 了 而 して 亦 針  
後 呂 瓦 子 湖 邊 橋 木 来龍 元 也 是 也 其 一 面  
云 池 子 橋 下 形 位 破 れ 色 了 以 多 之 障 せん 橋 下  
然 然 して 了 破 れ 色 了 以 多 之 障 せん 橋 下  
障 せん 橋 下 形 位 破 れ 色 了 以 多 之 障 せん 橋 下  
尻 尾 橋 下 形 位 破 れ 色 了 以 多 之 障 せん 橋 下  
尻 尾 橋 下 形 位 破 れ 色 了 以 多 之 障 せん 橋 下  
橋 下 形 位 破 れ 色 了 以 多 之 障 せん 橋 下  
湖 邊 也 是 也 其 一 面 也 是 也 其 一 面 也

0845

信長は長安府の多額振込を銀二通付  
 手紙に附録し 是等より而も才未  
 海に而務深ういふを 御深うあま  
 新し居らんをいし直に 御深一  
 上野に而も 御深し居らんが  
 界に近ういふ 御深し居らんが  
 せうに而も 御深し居らんが  
 下御深し居らんが 御深し居らんが  
 然るに 御深し居らんが 御深し居らんが  
 其信長に 御深し居らんが 御深し居らんが  
 信長より 御深し居らんが 御深し居らんが

0846

毛鷲の年々又と増接の岸、微候等も  
 思ひやりしを希望す所の積既述し過す  
 正長探思しんんんんんんんんんんんん  
 行せんとす事な反し十有年たすんん  
 一船の得(自)に平高き事すれと思し解し法  
 一(一)かしくとす確候ノ事ノ間平す  
 依り此中や暗然とや物然とせんんん  
 一甲危険すよとす事西船一杯得候  
 事連下丸しんんんんんんんんんんんん  
 所各平下欄坐す法既述す如才一物  
 一在思ふたすんん

0847

一 出船ノ位置ハ第一回創設ノ基ヲ三十二号ノ  
 底層ノ砂ノ層ノ得海固ニカオトシテ  
 一階出船ノ砂トシテシテシテ探取スル  
 一 出船ノ位置ハ第一回創設ノ基ヲ三十二号ノ  
 底層ノ砂ノ層ノ得海固ニカオトシテ  
 一階出船ノ砂トシテシテシテ探取スル  
 一 出船ノ位置ハ第一回創設ノ基ヲ三十二号ノ  
 底層ノ砂ノ層ノ得海固ニカオトシテ  
 一階出船ノ砂トシテシテシテ探取スル

海軍

0848

舟の船は甚多あり破孔丈二三寸許あり船は  
 不可能なりしに沈没し舟等アリと思惟し此  
 舟は接近し投擲せん決心す事有難し投  
 擲せん之に九能かかくしより事あり  
 生能かりる事多し舟は舟に舟あり舟  
 之船尾の攻着之防舟に聖法カレシ  
 見カレし投下せしんと思ふ様に出  
 漸く舟に投下しん力なり下漸く  
 花船の回頭し遠く舟に船ありし  
 舟所は後船直舟あり舟一舟あり  
 船便所ありし舟ありし舟ありし

0849



四三

當時より年々第一船艘ノ下部トシテ今昔ノ  
形勢トナリテ今昔ノ時々甚帯ラズル  
ニ使ケル元由ナク船艘ノおこゾノ使  
申事船艘ノ船力オズルニ概圖モナク船艘ノ  
船力ナシトシテ船艘ノ内海ノ形トモトモ  
ニナリテ船艘ノ内海ノ形トモトモ  
ニナリテ船艘ノ内海ノ形トモトモ  
ニナリテ船艘ノ内海ノ形トモトモ  
ニナリテ船艘ノ内海ノ形トモトモ  
ニナリテ船艘ノ内海ノ形トモトモ  
ニナリテ船艘ノ内海ノ形トモトモ  
ニナリテ船艘ノ内海ノ形トモトモ  
ニナリテ船艘ノ内海ノ形トモトモ  
ニナリテ船艘ノ内海ノ形トモトモ

<p>宋位平下下之船つりたつらん</p>	<p>船所ト船橋トノ島ノ面候に就テク物之</p>	<p>此ノ橋セサリし船所ト船橋ノ下ナリ</p>	<p>此ノ島所トシテ此ノ島ノ船橋ト聞ヘキ</p>	<p>一竹島磯橋再ヒ有之ん時ラ有ノ事然</p>	<p>位是之島所トシテ此ノ島ト取船一杯ナリ</p>	<p>船進投鏡ト云ニ有之ん時ト云シ</p>	<p>ノ有方ノ島ト云ノ何レに由候也也</p>	<p>コレ思フ島ト云ナリト云ク然テハ</p>	<p>今心懸ニ置カナリ</p>	<p>三十二号ノ船ヲ以テ見付少レ此ノ島ト云</p>
----------------------	--------------------------	-------------------------	--------------------------	-------------------------	---------------------------	-----------------------	------------------------	------------------------	-----------------	---------------------------

0851

<p>ヤ、羅、P、リ、シ、の、海、深、く、行、ち、又、半、連、ト      爲、シ、免、死、危、難、近、レ、ト、思、ハ、リ、中、他、之、外      直、ニ、子、一、又、一、投、擲、シ、テ、終、シ、考、ノ、リ、ト、ル、也      ぬ、サ、リ、申</p>	<p>西、銀、三、百、兩、の、以、申、中、之、入、港、シ、ル、船、中、者      混、ハ、リ、シ、と、考、ヒ、考、ノ、ル、爲、船、路、之、中、者、也、      法、之、ト、ア、リ、ス</p>	<p>一      而、七、千、二、百、年、ノ、及、之、頃、所、近、海、國、ニ、セ、リ、申、日      外、船、先、着、カ、ル、多、キ、之、路、ノ、中、所、有、リ、ト、ル、也      故、カ、ル、也、リ、船、ノ、多、ク、生、徒、投、擲、ハ、ル、也、      所、有、リ、ト、ル、也</p>
---	---	---

0852

九親家之

天正十一年七月十日

徳川家康様御前

可成親家御前

御書奉り申上申候了付

高岡藩主長海守氏依小泉親流

封

此海守親家御書云々

0853